

施策：	28	公平・公正な事務執行	財務コード	01020502-01-107
基本事業：	06	選挙管理委員会事務局の運営	担当部	選挙管理委員会
基本事業の成果指標	各種選挙の管理執行上の問題件数		担当課	選挙管理委員会事務局
			担当係	選挙担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
主に有権者		市民に対して選挙啓発を図り、又は政治意識の向上を図るため活動を行っている。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		選挙時街頭啓発 「はたちのつどい」での選挙啓発 市広報誌を利用した選挙啓発 市行事と合わせた街頭啓発 生徒会選挙等に対する選挙資材の貸出し 政治学級の実施 若年層（大学生）の選挙事務従事による選挙啓発				
選挙が選挙人の自由に表明する意思によって明るく行われるように、常にあらゆる機会を通じて有効適切な諸方策を推進し、選挙人の政治常識の向上に努め、もって民主政治の健全な発達を図る。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
政治学級参加者数	人	15	12	17	17			
ポスター応募者数	人	46	29	50	50			
5. コスト								
事業費	計	千円	50	44	174	174		
	国	千円	0		0	0		
	県	千円	0		0	0		
	地方債	千円	0		0	0		
	その他	千円	0		0	0		
一般	千円	50	44	174	174			
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.2	0.2			
正職員人件費	千円	782	802	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	832	846	1,850	174			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	市民に対して選挙啓発を行い、政治意識の向上を図ることを目的としており、市として必要な事業である。各種選挙執行経費を活用した啓発物資の配布、県選管から無償提供された啓発冊子等の有効活用、市・県の出前講座等を積極的に利用するなど経費削減に努めている。政治学級参加者数については、横ばいの状況である。ポスターコンクール応募者数については、学校及び学年単位で夏休みの課題として取り組んでもらえるように校長会で依頼を行った。応募者の総数は横ばいの状況である。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
政治学級の活動について、学級生が興味を持って学べる学習内容を積極的に実施していく。また、新規で参加する学級生が少ないことから、引き続き、学級生を募集する際には、座学以外の取組内容を紹介するなど、活動内容に魅力を感じてもらえるような広報掲載内容を検討する。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
選挙が選挙人の自由に表明する意思によって明るく行われるように、常にあらゆる機会を通じて有効適切な諸方策を推進し、選挙人の政治常識の向上に努め、もって民主政治の健全な発達を図ることを目的として開始した。	